



The bridge to possible

データシート

Cisco Public

Cisco Stealthwatch の セキュリティフレームワークでの 使用方法

目次

ユースケースワークショップの概要	3
ワークショップの所要時間	3
Cisco Capital	3
詳細情報	3

ユースケースワークショップの概要

ユースケースワークショップは、Cisco Stealthwatch® Enterprise の特定のユースケースの成果に焦点を当てた、実践的なインストラクタ主導のコースです。ワークショップは、一般的な脅威を迅速に特定して調査するのに役立ち、効果的なワークフローを提供するように設計されているため、Stealthwatch の機能を十分に理解できます。

このワークショップでは、侵害の兆候を特定し、セキュリティフレームワークにマッピングすることに焦点を当てた一連のユースケースについて学習します。

このワークショップは、対話式で魅力的な内容になっています。質問したり、質問に回答したり、ベストプラクティスやアイデアを共有したりすることをお勧めします。

このコースは、経験豊富な Stealthwatch ユーザを対象としています。Stealthwatch 製品とセキュリティアラームの設定に関する知識があることが強く推奨されます。

このワークショップを受講すると、次のことができるようになります。

- セキュリティフレームワークの内容と目的を明確にする。
- Stealthwatch でセキュリティフレームワークを使用する利点について説明する。
- Stealthwatch を使用して、ネットワーク内の攻撃アクティビティを分析する。

ワークショップの所要時間

約 2 ~ 3 時間

Cisco Capital

目的達成に役立つ柔軟な支払いソリューション

Cisco Capital により、目標を達成するための適切なテクノロジーを簡単に取得し、ビジネス変革を実現し、競争力を維持できます。総所有コスト (TCO) の削減、資金の節約、成長の促進に役立ちます。100 カ国あまりの国々では、ハードウェア、ソフトウェア、サービス、およびサードパーティの補助機器を購入するのに、シスコの柔軟な支払いソリューションを利用して、簡単かつ計画的に支払うことができます。詳細は [こちら](#) をご覧ください。

詳細情報

Cisco Stealthwatch Learning Services チーム (stealthwatch-training@cisco.com) にお問い合わせください。

©2021 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

Cisco, Cisco Systems、および Cisco Systems ロゴは、Cisco Systems, Inc. またはその関連会社の米国およびその他の一定の国における登録商標または商標です。

本書類またはウェブサイトに掲載されているその他の商標はそれぞれの権利者の財産です。

「パートナー」または「partner」という用語の使用は Cisco と他社との間のパートナーシップ関係を意味するものではありません。(1502R)

この資料の記載内容は2021年3月現在のものです。

この資料に記載された仕様は予告なく変更する場合があります。



シスコシステムズ合同会社

〒107-6227 東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー
<http://www.cisco.com/jp>

お問い合わせ先